



JA福岡市東部 自己改革の取組成果

令和元年度～令和3年度



JA福岡市東部



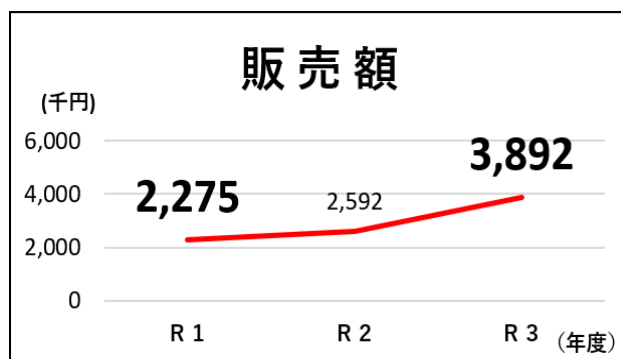
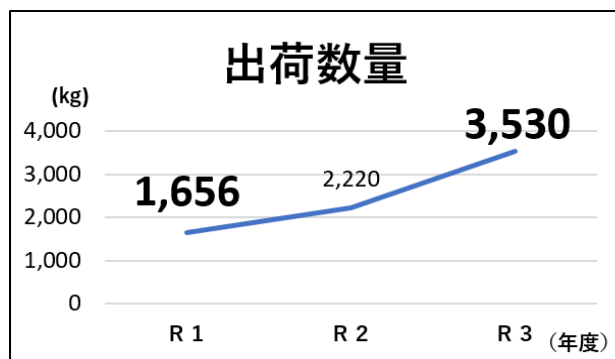
「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

●マーケットインに基づく生産・販売事業の実践

農業者の所得増大への取り組みとして、市場への出荷だけでなく、直売・相対取引等を拡充させて新たな販売経路を拡大しています。また、和白産の白ネギや箱崎産の青ネギを小学校給食に供給し、地元でとれた安全・安心な農産物の周知に加え、安定した収入確保につながりました。



《取組成果》 箱崎産青ネギの出荷数量・販売額



《取組成果》 新たな販売経路の拡大

年 度	R 1	R 2	R 3
販売経路	2 件	2 件	3 件

●生産資材価格の引き下げと低コスト生産を支援する体制強化

農業コスト削減につながる取り組みとして、近隣JAやふくれんと協力して肥料・農薬等の価格引き下げを実施し、生産性向上のために生産資材の充実に努めました。

また、不要農薬及び農業用廃棄プラスチック、農業用廃ビニールの回収を行うなど、組合員を支える体制の強化に取り組みました。

《取組成果》 農業用廃プラスチック類回収

年 度	R 1	R 2	R 3
参加人数	34 人	41 人	33 人
廃ビニール回収量	4,680 kg	5,000 kg	3,960 kg
廃ポリ回収量	2,320 kg	1,500 kg	1,980 kg



営農指導の主な取り組み

●地域農業を支える担い手の様々なニーズに応える個別対応

農業者が安定した収入を確保できるよう、営農指導員による圃場巡回や各部会（稲作部会、イチゴ部会、ブドウ部会、果樹部会）の講習等を行いました。

また、安定生産・適期出荷を促進するため、栽培講習会、土壌診断、花芽検鏡、糖酸度検査を行うとともに、生産現場での安全性を確保するため残留農薬の分析を行いました。組合員の所有する農地荒廃を防ぐために、JAによる農作業受託事業、及び青壮年部と協力して果樹の低木化を実施するなど荒廃地の解消に努めています。

＜取組成果＞ 農作業受託件数

年 度	R 1	R 2	R 3
農作業受託件数	38 件	45 件	55 件



営農指導員による稲作講習会



月隈ブドウ部会員への個別講習



営農指導員と市職員による圃場巡回

＜取組成果＞ 果樹園荒廃防止の取り組み(果樹低木化)

年 度	R 1	R 2	R 3
低木化した果樹	82本	132本	81本
参加人数 (JA職員・青壮年部員・協力委員)	38人	38人	35人



●新たな担い手の育成や担い手のレベルアップ対策

新たな担い手の育成として、平成30年4月に志賀島農業研修施設を開設し、次世代の志賀島農業を担う新規就農者の育成をしています。現在まで6人の研修生が修了し、イチゴ農家として志賀島で就農しました。

農業の基礎知識や栽培技術を学んだり、農機の安全講習を行うだけでなく、新規就農者と今後の目標や課題などを話し合う機会を設けるなどしました。



志賀島農業研修施設



「地域の活性化」への貢献

地域イベントへの参加や支店イベントの開催など各支店による行動計画をもとに「地域密着活動」を行い、地域の活性化及び地域の方々との交流を深めています。管内の景観の美化・環境保全への支援も行っています。令和2年10月からは、SNSを活用して新規就農者や地域農業に関する発信も始めました。また、無料総合相談会を定期的の実施し、組合員の個別の悩みに役立つ活動も実施しました。



令和元年に地域の子ども食堂などに金印みそを寄付



令和2年10月 女性部によるフードライブ活動の開始



グリーンカーテンの実施
(香椎支店・和白支店)



弁護士・税理士・司法書士による
「無料総合相談会」の開催



福岡市が取り組む「一人一花運動」への協賛



SNSを利用した新規就農者や
地域農業に関する情報発信

幼稚園や保育園・小学校での食農教育(野菜作りや稲作への支援)を通じ、季節や旬を感じて豊かな心・感性をはぐくむことに貢献しています。

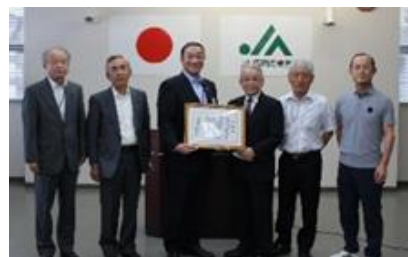
令和3年6月、当JAと上和白地区の組合員が協力して地域の小学校へモチ米苗の提供や田植え指導を10年以上続けたことに対し、和白東校区自治協議会及び和白東校区青少年育成連合会から感謝状を受けました。



幼稚園や保育園での
野菜作り支援



小学校での稲作の支援



感謝状を受け取る藤野組合長

